

一般質問

9月23日
9月24日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、12月中旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。

しいなひろみ

(無所属の会)



介護従事者をハラスメント被害から守るために

【質 問】現場の課題である経営者や責任者からのハラスメント相談窓口を設置すべき。

【区 長】区に相談いただき、内容に応じて国や都などの窓口を案内していく。

【質 問】ハラスメント防止の観点から、2人以上の職員による訪問サービス提供時の

費用の一部助成を次期計画に位置づけるべき。

【区 長】集団指導において、訪問時の注意点や悪質事例の共有を行うとともに、都へ補助制度創設を要望していく。

血清アルブミン検査の実施を

【質 問】フレイルや認知症の予防につながる血清アルブミン検査を後期高齢者健康診断の検査項目に加えるべき。

【区 長】後期高齢者健康診断の検査項目に、栄養状態を測るアルブミン値を追加する方向で検討している。



【区 長】後期高齢者健康診断の検査項目に、栄養状態を測るアルブミン値を追加する方向で検討している。

おむつ支給事業について

【質 問】介護保険制度の改正時も軽度者が引き続き利用できるよう、主治医の意見書を活用した救済措置を。

【区 長】より必要な利用者にサービスを継続していくよう、対象範囲やニーズを精査し、財政状況も考慮しながら事業内容の充実を図る。

※以上のほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みについて質問があった

コロナ禍において差別や偏見を生まないために

【質 問】医療従事者や陽性者、その家族に対する差別や偏見には毅然と対応すべき。正しい知識の提供と意識啓発の取組みを。

【区 長】差別・偏見や個人を特定しようとする行為につながるような、感染者の情報は個人情報に留意し公表している。広報紙やホームページなどでの新しい生活様式の周知とともに、差別や偏見を生まないよう啓発に努める。

コロナ禍における事業運営を

【質 問】コロナ禍における景気や企業業績悪化について、財政見通しと今後の方針は。

【区 長】3年度予算は税収減や扶助費などの増加により183億円の財源不足が見込まれ



山田 貴之

(自民党)



る。実施計画事業の見直しや予算要求のシーリング実施などの緊急財政対策に取り組み

【質 問】感染症対策のため、区民の来庁回数を減らし、手続きの簡略化に取り組むべき。オンライン申請の拡充が必要と考えるが、区の見解は。

【区 長】年間2千件以上発生する手続きについて、優先的にオンライン申請の検討を進めている。課題を整理し、他自治体の事例も参考にしつつ、段階的に拡充していく。

【質 問】成人式は地域住民の尽力により運営されてきた。感染症の影響も踏まえ、新たな形式での開催を検討しては

【区 長】地区ごとに開催する区独自の実施方法により3密が避けられるため、2年度は感染対策のうえ実施予定。新成人を地域で祝うより良い式の運営をめざす。

【質 問】児童・生徒の希望を契機とし、新たに障がい者アスリートをスポーツ大使に任命する方向で準備中。イベントなどで活用しながら、障がい者スポーツの推進を図る。

【質 問】区内全小・中学生へ配付されるタブレットを、緊急時の保護者への連絡や災害時の情報伝達に活用しては

【教育長】安全上の理由などから、学校へのスマートフォン持込みの要望が増えている。緊急時のタブレットの利活用についても検討していく。

【質 問】発達障がい者の指導と感染対策を両立した卒業式のあり方について、見解は。

【教育長】卒業式は新生活への動機付けとなる重要な行事と認識。2年度は感染対策を徹底し、卒業生の心情に寄り添いながら、学校の実情に応じた実施方法を検討する。

教育について

【質 問】オンラインの相談体制を確立し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの相談が受けやすくなるよう検討すべき。

【教育長】オンライン相談では気軽に相談ができ、コロナ禍の影響や不登校児童・生徒の様々な状況に対応できると認識。国や都の動向を注視しながら、活用を検討する。

【質 問】小中一貫型学校の整備にあたり、区としてどのような学校を作るのか具体像を示すべき。今後の方針は。

【教育長】小中一貫型学校整備プロジェクトチームを設置し、検討している。学校改革に関する基本構想・基本計画を策定するまでに具体像をまとめる。

【質 問】荒川が氾濫した場合、区では約920ヘクタールに浸水の可能性がある。避難行動要支援者の移送は大きな課題と考える。避難行動要支援者名簿を活用した、より実効性のある取組みを。

【質 問】高島平の区道街路樹において、アメリカシロヒトリの毛虫が大量発生した。今後、発生を防ぐ対策は行えるか。

【区 長】アメリカシロヒトリに毒性はないが、繁殖力が高く幼虫による被害で樹木が被害を受ける。発生を防ぐには広範囲の一斉駆除が必要となり困難。引き続き注意を払い、初期段階での駆除に努める。

安井 一郎

(自民党)



エシカル消費の教育を

【質 問】エシカル消費は、環境や社会問題の解決につながる商品を購入する消費行動である。SDGsにも位置づけられており、子どもも理解し実践できるようにすべき。

【教育長】持続可能な方法で生産・消費する理念は重要と認識。例として、家庭科では物の買い方・選び方、消費者の権利と責任などを学習している。生産と消費のあり方を考え、身近な問題の解決に向けて実践する態度を育んでいく。

【質 問】区長は、喫煙者の区役所利用者・区職員のことをどう捉えているか。喫煙所設置に向けた取組みについて、見解は。

【区 長】望まない受動喫煙の防止に加え、喫煙者と非喫煙者が互いの立場を尊重する

【質 問】建築物の解体工事におけるアスベスト飛散防止対策の重要性が提起されている。区として現状をどう把握し、対策を進めていくのか。見解は。

【質 問】解体工事の施行者

水害対策を

【質 問】荒川が氾濫した場合、区では約920ヘクタールに浸水の可能性がある。避難行動要支援者の移送は大きな課題と考える。避難行動要支援者名簿を活用した、より実効性のある取組みを。

【区 長】要支援者全員を公助のみで避難させることは困難であり、共助の取組みが重要。2年度は事前の備えについて通知し、親戚宅などへの縁故避難や介護事業所への避難先の相談などについて啓発を行った。台風接近が想定される際は、住民防災組織や民生・児童委員から安全なうちに声掛けが行われる予定。



台風19号直後の荒川増水の様子



しのだつよし

(自民党)



障がい者福祉の充実を求めて

【質 問】親亡き後も、強度行動障がいを含む重度知的障がい者が、住み慣れた地域で暮らせるよう、体制の整備を。

【区 長】5年3月に板橋キヤンパス跡地にグループホームを開設予定。地域生活支援拠点の機能を取り入れ、強度行動障がいを含めた重度知的障がい者が安心して暮らせるよう取り組む。

【質 問】農福連携は、高齢化や担い手不足が進む農業分野で新たな働き手確保につながる。しかし、区の農福連携協定事業は水耕栽培であり、高齢化の問題に寄与せず、情緒的效果も見込めないが、事業の効果について見解は。

【区 長】農作物栽培を通じて、農業への興味・関心が醸成されることと認識。将来、本格的な農業に取り組む新たな担い手の確保につながるかと考える。

障がい者スポーツ振興を

【質 問】様々な障がいの特性を踏まえた意見を取り入れ、振興に取り組むべき。有識者や健常者・障がい者アスリートを含む情報交換の場を。

【区 長】多様な意見を集め、施策につなげることは必要と認識。障がい者アスリートなども含めた情報連絡会や懇談会の開催を検討する。

【質 問】障がい者アスリートが区民と接することで障がいへの理解が深まり、同じ障がい者へも勇気や希望を与えることができると考える。スポーツ大使として任命しては

【質 問】発達障がい者の指導

(4面へ続く)